H

(土)

p 测验 调整存 人人人

日八月九

設行所

11 2 X 43 XX

日本品

壓倒

され

東京 は適當な避難處置をらとざり しためこの衝突を超したもの でこの結果まにら丸は前記睛 でこの結果まにら丸は前記睛

國債八月末總計

を見ん

三四

ハ萬三千圓

米織物罷業

K

外商悲鳴を撃

和昭

ひ込み諸國は歳は機入禁止、 期當個の實施、亦高率關稅の 制定とありとあらゆる方法を 以て日本商品輸入阻止の手段 以で日本商品の劃期的飛躍 やはり日本商品の劃期的飛躍 をはり日本商品の劃期的飛躍 に大洋行、アブゾフ等の大商 に大洋行、アブゾフ等の大商

同様強減を見るのではないと が至四割方の減收をみて居る 水脈で、加ふるに昨今の天候 不順で天津集散棉花も他方面

まにら、 の衝突で

程大阪方面へ商品は云はれてゐる、これ 品に入れに闘

ことは僅か五坪足らずの家めて日本品の製造されるのめて日本品の製造されるのを見て來ましたが、驚いた 外國品以上に優良な日 從つて 今度は日 大阪商船會社では 東京園通】大阪商船會社では 東京園通】大阪商船會社を 大として日本郵船會社を相手 どつて七日午後東京地方裁判 所に損害賠償七萬九千八百七 所に損害賠償七萬九千八百七

店を維興に三十數軒の商店が在案外人及ひ日滿人を顧客として從來ソ職製品を収扱つてるたが、最近日本商品の安價と品質向上に對抗し得ず、アブッフ、仁大洋行、高德門等の製意により在庫品の不於康の製意により在庫品の不於康の製意により在庫品の不於康の製意により在庫品の不於康の製意によりる有線でことしている。

船、郵船を訴ふ

(日

貿易

より見

た

間島發展の近况

(四)

精糸、綿製品であつて、従来 ・を示してゐたものであるが りに落ちてゐれるのであるが 原で、總輸入額一千百六十餘 に落ちてゐる

本 後來常に職入の首位を占めて るた綿布類が、かく比率を低 年度の輸入總額が綿布類輸入 の増加にもまして膨脹を示した た結果である、昭和八年度綿 た結果である、昭和八年度綿

IJ

2

7

てそれが野球のス

た。無質名物と

一寸見當がつかなっ

それが何であるか

嚁

天津新棉

一割乃至四割減收

【天津七日酸國通】富地方新一根は昨今漸く出廻り始め五日 一大津に今年最初の出廻りがあったが、天候其他の關係で大量出廻りは多少遅れるものと最初の收穫を想が領めて豐作を想はせたので今季節大いに起ませたので今季節大いに対して居たが、山東始め各地共その後の調査強想が二割 丸と闘門海峽で衝突したが當 東商船まにら丸と郵船の宮崎 場所船まにられと郵船の宮崎

九條に依りまにら丸を避くべ認めて居り海上個突後防法十 時筥崎丸はまにら丸を右舷に 四運問題は 政府間の交渉なればよ

低下を講じない限り日本品 観税等の方法を採つてゐる 標ですがいくらそんな方法 標ですがいくらそんな方法 は外國局が厭迫されるのは れてゐるのを知り、これで れてゐるのを知り、これで れてゐるのを知り、これで 関税等の方法を採つてゐる 関税等の方法を採つてゐる。 に、最近英印、關印意州等 無理もないことと思ひました、最近英印、關印意州等 無理もないことと思ひました。最近英印、關印意州等 取扱品を日本商品に轉向 消費高は七百八十四萬四千ビ 「東京國通」糖菜聯合會調査 に依ると本年度上半期の砂糖 八千ビクル、即ち五分五厘増 増加してゐる でせう 半 期の 砂 糖 東京滅通』大蔵省調査、八月本現在我國債額は八國債六十九億三千二百六萬國外國債六十四億八百卅萬三千圓にして、前月末に比し內國債は三萬九千圓の増加、外國債は三萬九千圓の増加、外國債は一四百卅三萬六千圓の域少で、ある計にて四百廿九萬七千圓の域少である

大平、 ・ 大学に対象を続り接外してるた非 ・ 大学沿線を始り接外してるた非 ・ 大学沿線を始り接外してるた非 ・ 本等指導者と積子を錦州に仰ぎ ・ 本等指導者と積子を錦州に仰ぎ ・ 本学沿線を始め無事、昌黎、 ・ 本学に対象を発しているた非 ・ 本学に対象を発しているた。 ・ 本学に対象を発しているた。 ・ 本学に対象を発している。 ・ 本学に対象を表している。 ・ 本学に対象を、 ・ 本学に

開業が料當難物であることを

なの限の前に、選い がの見出を引つ思い。 がの見出を引つ思い。

五千八百萬碼に達し、右の内で二千萬碼は大期に繰越し可能なるも、發頻預出は太月中に完了せずば失權するので組合では警後策を講じ、積出を現行せんとしてあるが、三千八百萬碼中に現品不足の生無地が三千萬碼を占めて居るので右輸出の大年の權利抛棄に至る懸念が多い

國立候補に支那の聯盟理点

事

ナダ發表の

規定內容

邦人歸化

會商の成否弦一

三日

【ジュネーヴ六日 酸関連 関奏會に於ては大同聯盟理事 関の改選が行はれるが現理事 関の改選が行はれるが現理事 関を形と使郭泰祺氏は六日 を要那がアジアに於る最大國 である以上其の代表として 可不可避の要求と云ふべき である れてゐる。

「横濱國通」アメリカ、タコマ、オリエンタル汽船オリンドア號はタコマより横濱へ向け航行中七日未明濃霧の爲め本牧沖で坐洲した同船よりは自力で離洲の見込みであると無電があった、坐洲附近は泥が多いため大した損傷はないが多いため大した損傷はないが多いため大した損傷はないが多いため大した損傷はないが多いため大した損傷はないが多いため大した損傷はないが多いため大した損傷はないがあると 「知りませんね」「知りませんね」「知りの智はない!」 でも思つたのだらう ないとうこ

自動車は、着もなく

滑り出

F

74

語建築材料として現地に於て 場の激減であるが、此の直接 の原因は輸道工事用木材及ひ は輸道工事用木材及ひ に対して現地に於て

出額を示すと左の二表の如く となつて居る、即ち昭和八年 となつて居る、即ち昭和八年 七年比較及最近五ヶ年木材輸

第

+

奉額す

分 (一)

最近五ヶ

年木材輸出額

第一年 次 能 井 昭和四年 14、44回 日 五年 15、40公 日 六年 14、40公 日 六年 14、40公 日 六年 14、40公 日 八年 25、400 日 14、800 日 14、8

民の生活必需品たる總布、綿間島に於る総入品の大宗は農

特面へ対策及機能の対象を

一、空間、人口

二、小麥粉
八年度 の小麥粉の輸入数量
八年度 の小麥粉の輸入数量
・ 一物八分に該當する
・ 一切八分に該當する
・ 一切八分に該當可入公

を事等に基因するものである 無勢の増加と共に鉄道工事間 に等機者の多数入り込める貸 が出した移出量が少くなかつ 進出した移出量が少くなかつ

R

大九八八五十 大九八八五十

軍春及開門 1 基本 0 8 三 ペイン 1 1 元 へ 0 8 三 ペーン 1 1 元 へ

七周七分

百

昭和七、

八年の比較(單位國幣園)

業 印 源 自 及 染 色 棉 布 布 布 布

同同同同则 幣 四

位.

の分比の一般を表現に對す

三、カナダ内務省の職化體設に非ざること

音響と、 ・ は な き 事前的に 日本 同籍 との 規定 に 就き 事前的に 日本 同籍 との 規定

で出願すれ

**すれば鬱化の拒否が** し、同證明書を添へ れるのは時化の

**来徴兵義務なきものなるこ** である

1 (東京國北西四野で前月に比し二毛島のである。 一本のである。 1 東京國 1 東京国 ド 日佛會館長 (東 満) 東京日佛會館長ドラモラ ジェル氏は夫人並に令機同伴 去る五日東京を出設支那訪問 の途にあるが、同氏は満州國 の女化提携に盡力すべく上海 北平を經て本月二十日頃大遠

電館を洗って、と思った っそれだや、変数

せて見せる。工順郡、署までが ないで、後で、君 たれば、工職も、仕方だ

でよろし 後で、君の身體に言は

「だつて知らない ものは、知ら

工作のでは、一本を工能に與へいら二本間扱いて、一本を工能に與って、一本を自分では、朝日の数 ら融しかけた。

工廠私、君も、 解目だぜっ 君なんか、立派 動命に邪氣のない美酷を

新京日 新満に

れが何であるか 声む…… おがのであるか 声む…… し金

城派川遣 追 看護婦、附添婦、 刷殿器五五二三番 派遣婦會 高梁址印刷遊 能三〇四七番

「いや、 折角だから乗って行か

稿にはい」な、そこらの題

緑澤……文章 立 附添、家政婦多忙に付募集 ----文章 立案

館の顔文字で、 男女員多数御一様大第 東二條通り機南渡る左 東二條通り機南渡る左 至急御伺致します

男女員 急派 現前二十二三 入船町二十二三 大船町二十二三 あ

中に違入つてるた。そして工験 間所會實石部 ま高價買

大信洋行新京支店

露披御店開 レインコート 紳士向 | 其他別位立側は 既製 洋服オーバー 毛皮類、抑歐米流行モダン型各種 婦人子 欧米流行モダン型各種 婦人 子 き皆様の御引 通り一九〇五年より

其他別出立御註安に應じ\* 毛皮類、淑女向婦 人 子 供 服 ん事を伏して御願ひ致します 兄弟商會支店を営地日本橋通りに 本店を有し上海及各地に支店を置

小野田セメント 土工用具

あ

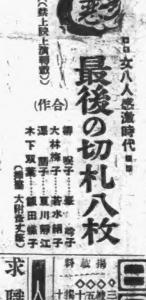
\$

電 機械

作行新京支店 電話(三世)上 電話(三世)上 番話(三世)上 番話(三世)上 番話(三世)上 番話(三世)上 番

目了二町舟入京新 番二〇八五話喪





【東京関通】 東株調査によれば一日現在上場株式時債職額は六十億百九十九萬側で前月に比し四千六百七十萬側前年

綿布の對印輸出

多額の失權

株式時價

日現在上場

想的にも特別であ たの食品の製 3

出祭者の思惑に佐り積出未了するが、割富額の一億碼中輸出をが、割富額の一億碼中輸出を対し、対しているが、割富額の一億碼中輸出を対しているが、割富額の一億码中輸出を対している。

「近いんだから、粉いたつてい **『それぢやあ、** 優待する。 といふ意味なのだ

事の一人が工 張り出して、 には自然事にも乗つて見とくさ 自分が問題なのだ。そこで、ど自分が問題なのではない。 「さらですか、そんなら倫理、

五十回丁一町泰蓬京新丁牛へ西署察警京新 掛〇八一三話電

背後に聞えた。

これは、これは、

るんだらう。蔵一に

せ動らくは、

あのア

電話

整旗 金光教會前 成教會前 計

\*

指導的な分子 影響があった の彼女達川 のの刑事連に取歴まれ行ら、外に別のの刑事連に取歴まれ行ら、外に別の制度と置かへて、背殿 家に被責度

起三七五四番 の五九四七番

本タイプライタ會科 年前、午後、夜間 なが、世話は横日で、電話三人

速記

二十八災。東西土電五六六九番赤洋海





廢棄通告决定を

した。但し佛伊雨國政府が海軍均勢案其他雨園間一切の騒撃に就き目下類りに折衝を観けてゐることは事實であり、十月末バルッー佛外相のローマ訪問以前には一應の話合が海

近くハルビンへ

軍縮對策骨子 樞府の諮詢を仰ぐ の責任を負はされるよ する余地を残したものと見ら意向は密誘外交の本領を發揮をみて断行する、との解説をみて断行する、との解説に於ても廢棄は後備交派

の強 6 8 部内へ通達 海相から

(吉林國通)

吉林省長熙洽氏は數日前より病魔に

製は

世保のの第57 F 部司令官各學校長を通じ部内に示達し、全海軍一丸となつて帝國の方針貫徹に邁進すべ

露骨に宣傳

共産社會を

せるところによれば、オラン 【バタピア七日 オランダ側の 海運問題

目として提案してゐるのは左ば側は所謂海運問題の討議項 一、外領直航路船舶數調節問 國族別貨物割當問題 

解決にも

蔣、汪兩氏と

も完全に意見一致

氏上海で語る

込みである

九州地方大旱魃で枯死し

外領への接續貨物問題

九名の委員が慎重調査の豫定と見られる、関議に於て對軍相の説明に次ぎ、床衣遞相相の説明に次ぎ、床衣遞相同一直の工質問、又我國財政とに亘つて質問、又我國財政と

海軍會議の

對策は出來た

一臓相は約十分間

海相、

閣議後語る

相は語る「開議散會後大角」

首相が参内上奏申上げて居 では絶對に口にせぬと申合 では絶對に口にせぬと申合

獨再軍備拒否の

其他の細目の問題

佛伊意見の

と日の閣議は常に見ざる緊 で表記みよりして非常に熱心 に熟議したが、右によつて に熟議したが、右によつて

にせぬと言ふ事丈けは云へ事が起つたとするも微動だるから此方針には如何なる

を詳細説明し福府側で首相外相より夫々根行ふが、十二日の福府行るが、十二日の福府

會議に海軍み事参議官

策が廟識決定を見たので七日【東京図通】海軍では軍稲對

貫徹に適調する事を誓つ 海軍一致協力して帝國の方案决定の經過報告諒解を求 出席、大角海相より軍縮對策

經過報告

ため、岡田

平沼委員長以下九名慎重協議

政府間に海軍力均勢楽並にド 備交渉の綾開を前に佛伊兩國 一致 デマか アフリカ航路等を意味すン というがあればいいでは、 が関航路に對するオランダ船の利益線電の問題 のジャワチャイナ汽船のシンガポール、K、P、Mの というがあるオラン 

(東京関通) ソ聯邦に於て不 程の言いあつた土方伯の處分 方針は宮内省で慎重調査する こと、なつたが、華族にとつ で職罰たる華族令第廿三、四

國の利益を基調として誠意 ||意見||恋北問題は雨

既に決定した、今は交渉編 たなる、我々が関東軍との交渉 かを帯大外交営局との交渉 に移す方針を持つ様に傳へ

諒解を求む

相、外陸兩相に

ト失要

來京す

これを率直に容認せざる場 会協も許されず、關係便が 的主張にして新何かる譲步

**革問題は過日來河田書記官長** 

より立案題旨經過を聴取し、が陸軍外務拓務三省事務當局

**所度能を作成する事になって 東築の作成に着手せんとする 管であるより立衆通管総遇を聴収し、 の意向を聴収して来週より折 とも會見して現地家を設明のが陸軍外務拓務三省事務當局 邸に同縁謀長を招き、関東軍 は河田輸長、金森法制局長官市問題は過日來河田書配官長 ので、岡田首相は八日午前官 する事となつた尚西尾参謀長・東京図通】在補行政機構改 を簡らして七日午後入京した 政治的折欄に先立ち参考に交** 

にあり、更に陸軍業を支持されるが、陸軍側は福力常初の 施管を強硬に主張し居り、折 を登を強硬に主張し居り、折

陸相、首相に

陸軍側强硬態度傳達

らせるため在外大使に左の訓會議に関する政府の眞章を知

冒護に制する政府の眞章を知(東京國通)廣田外相は軍縮

在外大使に訓電

現地案を説明

これを契機に事態進捗せん

東京関連 間田首相は七日の開議散會後廣田外相、林陸相の居残りを求め 在滿濃陽の改組問題に就ては事務當局に命じ折動せしめてゐるが、自分としては 今日上京する西尾陽東軍谷 時間、一個東市路の上、 陸軍大區外務大臣との間で 充分御相談を致し度い

尚閣職では廢棄通告方針等も

上京の西尾参謀長

動の基調とする

に難く守るに易きを設定不

在滿機構改革問題

楽の貫徹に陸軍側の强硬なる ・ 電急解决を要認し、且つ陸軍 ・ 国の関係を要認し、自つ陸軍 悪臓を選げ完全に が大部延ひ延ひになつたが 幸ひ蔣、汪爾氏とゆつくり て蔣、汪雨氏との會見を終り【上海七日發國通】盧山に於 後四時自邸に於て記者團と

の解決は支那特に華北民衆明する時が来る、悪北縣衆明する時が来る、悪北縣衆明する時が来る、悪北縣衆

益す露骨化 赤衛軍一ケ師國境を越ゆ 和 長アーサー、ジェー、シノッ 加 関一流のジャーナリストで何

ムニューョークリン カワシントンニュース主筆 リガン夫妻

黄ッ氏は七日 する豫定である に滯在しその間有吉公使、 に滯在しその間有吉公使、 第二段に入る の取調べ 【ハルビン国通】北鐵路繁署 ソ聯邦の新疆經略

では異に逮捕した東部線軍用 列車爆破容疑者赤米從業員三 十名の取調べを急いであたが 四日午後突如現地で取調べ中 の細鰤河跡赤米從業員ブロチ エニ(二七)、コラスユーコ (三三) モスコミチ(二八) の三名をハルビンに連行第二 段の取調べを開始した

家の意気沮喪し自然飼育に、東北地方は天候不良で桑一、東北地方は天候不良で桑園の酸育不良なること園の酸育不良なること 朝日北支訪問機

海外經濟

三片六分三三片八分三

新聞の北平訪問飛行機は午後、北平六日發國通〕六日午前 平に安着

留め七日に延期された 田東京融の一機は天候不良の 日本京融の一機は天候不良の 海馬の日山の日本 行方不明機

中に不明となった聯合整融高中に不明となった聯合整融高 連乗組淺水中尉、住司三等航 整兵曹は「六日午後に至るも 整兵曹は「六日午後に至るも を兵曹は「六日午後に至るも を兵曹は「六日午後に至るも を表す、四日夜訓練中に不明 となった赤城栗乱一等航空兵 となった赤城栗乱一等航空兵 搭乗べ消息無し 

▲上海日· 

話電

二九四五

巨製ンオネの一唯京新

に價安は段値 替取● ● 附証保は品製 ● 切一理修 ● 更變 ●

板看金字文金板看術美 • 負請事工塗キンペ築建

店概看圖會

老新 松京 町ダ 二丁 1 t 目 街

備を蹴つとばすやうなことは 同職線を布いてドイツの再軍 同職線を布いてドイツの再軍 病魔 に襲はれ 熈洽氏靜養引籠り

先づあり得ないと觀られる交渉の縄過如何にかゝはらず 目下自宅に靜養引籠中である 名で近くハルビンに腹送され、紫務執行妨害並に傷害罪の罪

日朝入港の朝海九(二、六〇 脱出した五名のソ聯漁夫が七 脱出した五名のソ聯漁夫が七 横斷の五名 王道を慕ひ渡滿

トラ漁場を脱出値かっ 漁船で間宮海峽を積斷、冒險トラ漁場を脱出僅か十五噸の て大連に上陸し 4運命を辿つて の前記朝海丸に

會計

檢查官一

電石三九五西

會計檢査院檢查官并上部長一 行は豫定より遅れて九日午後 七時三十分率天から來京大和 ホテルに入るが、兩三日滯在 のうへ軍、大使館、滿鐵各機 明日來京

■その他について 図庫財産の ・食品、 溝鐵各機

誠意、華北問題の

(東京國通) 震絲會調査、夏 ・ 大鷲の揺立縁根は八千五百五 ・ 大鷲の揺立縁根は八千五百五 ・ 大鷲の揺立縁根は八千五百五 ・ 大鷲の揺立縁根は八千五百五 一割五分弱な 掃立豫想 の 割五分弱減少

先中高 大阪二月成 三元〇 一月成 三元〇 

店員募集 御菓子店

玉 て一ヶ年以上動練出來得る者但し廿五歳以下外交に經驗あり

竹食堂 一七二四番 罪狀愈よ明白 魔分を受けた丈けであつた た際自強的に鬱位を返上し、 た際自強的に鬱位を返上し、 0 税關吏交換。解係者 就き協議

モ

0 

B

離人村上氏蘭五位に叙さる。 一人ではあるまい

増加を陳狀、國都の姿漸く整麻新京្業路客激増で停車数

シャンブルン伯並にイタリーマ駐在フランス大使ド、

府當局は六日夫々か」る

滿州里驛長

へてゐるが、右報道は國際政局に異常なる痼

返上を奏請することは既定の を投げかけてゐる、赤化關係 で餅 位返 上を 命ぜら れるは で制 位返 上を 命ぜら れるは

護送 【率天國通】來る九月中旬頃 北鮮線朱乙(溫泉型)に於て 過們、上三峰、濟津、雄基等 各地の日補稅關吏、機道從業 員が會合通關事務、荷主及ひ 旅客のサービス等を主題に座 旅客のサービス等を主題に座 た日滿。關東交換問題につい 

ムスユニ

からげて走るやうな」精洲の 串本節ならざるも『尻をひつ

【北安鎭國通】去る八月十 藤本氏を釋放りの代金速調で オン酸行者 トリップ氏 トリップ氏 ス主筆 ジェ スウイリア

健康第一

日本の强さ生に親しむ人を養成すること生に親しむ人を養成すること

往

來

各地市場

・ユス、トー・スペーパー

日北安鎮の北方四十八キャの 地監で北黒県橋梁工事中の福 昌公司員森本、藤本、村上、 角屋敷の四氏を拉致した匪首 孫憲詳は一人常り身代金二萬 圓を要求してゐたが、交渉意 の如くならざる爲、五日午後 入時右の内藤本氏のみを北黒 験五十三キャの地監まで見送 り残る三名の交換條件として を入萬圓を要求して追放して 変た

皆様の薬局 海属

90

行 アピール總支配人 ジエ・ス、ハモンド夫妻

林總裁一行 あす新京着

◆家金山中將〈遼源地區司令官〉同上 本王之安少將(騎兵第一旅長) 同上 ●加土羅氏(新京地區司令官) 同上 ●加土羅氏(新京地區司令官) 同上 ●大田七太郎氏(満洲國參繼 同上奉天へ。 ●展旧七太郎氏(満洲國參繼

本佐々木満線理事八日新京通過ペルピンペ、十日正午飛過ペルピンペ、十日正午飛過ペルピンペ、十日正午飛過ペルピンペ、十日正午飛過ペルピンペ、十日正午飛行機で新京着、同日午後四時三十分前行後で新京着、同日午後七時三十分前家天から 本度邊駿崎監(陽東軍歌醫部長)七日午後七時三十分前元家天から 本方の後定 本方の後である。 本方の後である。 本方のという。 本方のというのと、 本方のと、 本方のと、 本方のと、 本方のと、 本方のと、 本方のと、 ・ 本方のと、 本方のと 本方のと

補雜日大東滿 ▲ 豆先五 ▲ 日東雜大 ▲ 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 新 東 本 新 以品 大 章 新 新 新 司 新 紡 新 体 連 三 記 言 さ 短 三 言 さ な 九八百 

御下命を願います御祭の選当 四 日 迄

通告新せ

電話増加を

間南海南海河 海川河川 東 東 新道ノ東西新設蔵 久記証券部支店 新京老松町十二番 

▲上海倫敦向 養館 一志生六分三 養館 一志生六分三 養館 一志生六分三 養館 一志生六分三 大連金鈔票 10000 

# 病床の氏に直ちに傳達の手續

卸

せらる

# 一身を犠牲にして他の同じ北鐵南部線の腓禍事件に際

### で皆川恩賞處長列席の上遠藤日午前十一時國務總理大臣室日午前十一時國務總理大臣室田午前十一時國務總理大臣室 々を危急より

なほ日系満洲國官吏で満洲國へ傳達することとなつてゐるへ傳達することとなつてゐる **勘位並に勳五位景雲章を傳達 総務職長から保民政部大長に** 

**凼防婦人會產婆役** 

水田女史の喜い

これで一部の責任を果したこ

苦鬪に感激を語る

で目立つほどの回復はないが用部線列車襲撃事件の勇士村 村上氏の容態 熱は下る

下妻博士の治療並に防備酸赤十学病院上下の心からなる配間に纏られ日々快方に向つて ある、五日午前中の容態は体温三七度六分、脈搏九十、食工に集められた同情に對し同 上に集められた同情に對し同 上に集められた同情に對して 並に報道機關に宛て酸送する

挨拶申

清山 (二六) は去る五日午後 屋人稼ぐ山東省生れ城

では初め かられこれで今春の貴紙でれから資紙を通じて皆様に組ます」といつお報告申上けます」といつながよべに 御 餘坪磯筋混凝土三階<sup>程の裁縫</sup> はかねて大同大街に延坪六百 京城の三中井百貨店新京支店 工場を合資會社清水組の手に 三中井新京支店

現金二十圓を拔き取り同夜平 の間に置いてあつた財布から が入浴中を奇貨とし 同家六昼 氏方へ食器を取りに行き家人八時ごろ民政部前竹下金次郎 を新京總領事館署谷口刑事にを新京總領事館署谷口刑事に

逮捕された

お初物奉献も嚴か

後正一時より、

**超朝六時より** 

**主町校收穫祭** 

煮えたゾ

ー」の聲に和して

1.

たかる兒童達

井新京支店裁縫工場を始め十 と多く、上棟式の如きは三中 と多く、上棟式の如きは三中 七日の吉日 は暦で見ると四株大安 上棟式十四ヶ所 10 50 に執行され、式後階上で親宴支店長の標園めの式など戦か 帝都キネ 上棟式を擧げたが七日の 波邊清水組

**荷眼堂支店** 原金細工店讓受

率天に支店を置く貴金屬眼鏡

マキの三女が東京な 女給にはハル子、コ **米て率やかなサー** 

今回朝日通際町蟹院向側に新年を招待し盛大な披露宴を 相志を招待し盛大な披露宴を 他した 地鎭祭執行 華々しく開店す 谷部ミオコさんが の一部を改築し戯 カフ **敗裝なる** 丰 来京した長 ング

四ヶ所もあり神官は大多忙を

を行ふが金製品だけは除外で あるさらだ 一店を譲受け た、伯支

日

の出を拜する

時刻五時十分)市民早起會は公園蔵忠碑前にて、(新京日出 五時半から つどひ

拾ひもの

▲露月町三丁目滿線毗宅七四 飛澤コマ江さんは七日午前 九時十分ごろ自宅軸路上で

けふの銀相場

111日八0日

吉川牧師

「土の器を如何にせん」

日曜講演 主任、九日午東本願寺講師東本願寺

日曜學校 午前八時半二、 夕拜 午後七寺21、 夕拜 午前十時十五分二、 朝拜 午前十時十五分二、 朝拜 午前十時十五分二、 明子 午後七寺21

教會集會

新京日本基督 まりな認めり、配動歌迎 会 付 率山マッテ前山公 校に際し在學記念として金二 十週を西廣場小學校父兄會へ 盗

金票對國幣 金票對國幣 數票對國幣

▲八島通二二唐水和内堀口芳 大郎氏方へ七日午後六時ご 大郎氏方へ七日午後六時ご 大郎氏方へ七日午後六時ご

育聯盟主催)

明

時費京興線で来京した、同日氏報、蔣鐵社員奥地融間삚十

後十時級錦縣に出設した

三人を手玉にとつてエロの大 こん、コーさん、ターさんと こん、コーさん、ターさんと

**愛な目に途はされる** に當らうものならそれこそ大 に當らうものならそれこそ大

きたら三度の御飯より好きちしよう▲開花のみつ丸喧嘩と

日午接一時から西公園トラ 

畵 主他)

十九日日 二日間 映上 年秋季大祭嚴修仕候條萬障御差繰御誘合せの上御參詣被成陳者來る九月八、九兩日左記の通り新京稻荷神社創立廿周秋季の候尊堂愈々御淸穆奉賀候 下度此段御案內申上候

か四1分割

●謝恩特別與行●

助之间签衣督監 伸川谷長 作頭 主 郎五榮上尾 郎二 長 林 演 子露 原北 子 敏 據 飯

一、九日午前八寺とりFを「F」、「於神社境内」同午後六時半より活動寫眞無料公開「於神社境内」同午後六時まて宵祭執 八日「午日」午後一時より午後十時まで宵祭執行

昭和九年九日午前八時より

新京稻荷神社總代新京東一條通(日蓮宗經王寺西隣)

同

午後十時まで本祭執行

純東正京 益々 高 好評に付日延 島易斷本

部

なく短期間臨時出張ダマツテスワレパピタリトアタル(アタラネば料金いらぬ)大連市を最後に東京本部に引上げ豫定の所當地より『信鑑定多數米るに付き止む 高 島正泉師

期日九月十日迄損好機を逸せず今直ぐ來りて定評ある師の鑑定を受けられよ。 中の カーカー カーカー おくるれば一日の船獨特の靈感と活願に依り如何なる難問題たりとも即

3

日本橋通六四(南農場下る)品川洋行横上る 受附 朝九月 ブランスホテル七端

## その影にうべ

れた

周明博士等三名の第一回控訴審は七日東京控訴院で開か【東京國通】五、一五事件民間側被告の内控訴した大川

七日第

回控訴審開廷

紙袋を手に小山の

叫ふまでズ

扱ひ十四、五名、新京端扱ひに申込んだ者が西山運動具店同好者間にも相當期待され既

準備費に

寄附者續出

ファ

ッ

3

國防婦人會創立

秋

秋

供

「煮えたぞ!

期日(八日午前中)までに

金五十圓をそれぞれ寄附した は金二百圓、赤木常盤夫人は 百圓、极田武彦氏夫人は三十 圓、明阪季子夫人は州圓を第 四分會に、永田美那子女史は

お子様セーター 別 子セーター

室町小學校

秋

冬

0

品

如であがればも

めて泣き出す

生方の餌も

|権樹輝主催釣魚大會は新京|
既報、明九日(日曜日)の

の大

やかな鑑

釣魚大會

申込み殺到

客敷をつくして同九時半散會時在京記者團三十余名を料亭時在京記者團三十余名を料亭時に招じて盛宴を張つたが主

曜

B :

明笑の洪水の中に雄きしく披 明笑の洪水の中に雄きしく拔 明笑の洪水の中に雄きしく拔 有頭に見た新京夫人連中は思 ひ々々に或は辯護をし 政は離 金してその運動を促進せしめ て今日に至つたものであるが

川周明博

聞

ついけた裏面には女の世界にまでに最後の五分まで闘ひ

のことであるが、女史がか 間常に側面運動のために身

「どう致しまして只新興の 意氣燃ゆる建設の新京で人 並に、否馬並にかも知れま せんがヰコリと瓦斯をより 多くはたきまはつたに過ぎ きせん、さぞ御迷惑の方面 も澤山あつたことでせうが これで附屬地における婦人 運動の整理を新京の御婦へ

ハタキまはるかも知れませ からね黄驤萬丈ではないが からね黄驤萬丈ではないが

と瓦斯の低氣壓です

論よ滿洲を包む風呂敷です

昨多新京に來り、けふ新京國國民運動家永田美那子女史が

ばさすがにほつとしたらしく 前日に控へた永田女史を訪へ

でせう…エエ・・・・・ア・ホコでせう…エエ・・・・ア・ホコでせう…エエ・・・・ア・ホコでせらいエエ・・・・ア・ホコ

の説詞言上玉串奉

鏡も終つて神士

が溢れてある、先生の顔にい の下、見電農園の今朝は土の の下、見電農園の今朝は土の の心が和やかに融け合つて小 さい胸に忘れられない思ひ出 た枝豆と喜ひの見童鐘)

民政部大長は八日宮内府に登 帑金御下賜の御沙汰があり保 帑金御下賜の御沙汰があり保

内これを拜受した

大橋次長

在京記者團招待

合注

玉串奉

八時半各級から二

になつた、朝

一人前に して と を 終へて と を 終へて

た代表七十名は

お初物を献

秋が一次で

でこの春蒔かれた

まで土に親しんだ小さい者のいな」「おいしいわ」春から秋

六)新京驛(二〇一六)

水害救助の

至極の劇悲る起てつ依に愛性母

●品作良佳级弩超田蒲竹松●

御內帑金拜受

主子京

瞳は歌喜に輝いてゐる「うる た收穫を頻張る時だ、

小さ

込所は西山運動具店(三四四 は九月午後六時五十分、申 出設は八日午後六時五十分、申

新眼聞の

七百

一心に一大自然に献げる

た大豆とじや で築かれる日 可愛いい手

分達が大事に々々々育てあげ 呼の壁があがつた、今こそ自

自分達が作つた枝豆

芋を喰べるんだ、

千八百の見

豆とじやが

てお料理にかりつた。 名の家政高女の姉

んが交つ

大榆樹驛主催

犠牲的援助をし

せんでした、いよ々々な

よ々々酸會

防婦人會創立さる

ける新京國

京

亲厅

なんと震泥の差があるではな

かくて匪賊の退散後、

の魔手の

らぬ 裏少さ、そのうへ味方はその二十分の一 散は多人数であるの して攻撃のお手傳ひ 季ひ

射撃には自信があるので、最

老人の冷水と笑つてはいけない、匹夫の勇といふなかれたってからいふ行動に出なければならなかつたのだ、幸ひればならなかつたのだ、幸ひに軍隊生活をしたことがあり

必死に戦ふほかはなかつたが に過ぎない私を合せた人名が

指揮官の下土 を受けが頭部に軽傷で一同に、人たのは不幸中の幸ひであつた。 のは、よきに武装した日本人と同じく、満洲翼兵の不都合なことである、即ち最後部のなことである、即ち最後部のなことである、即ち最後部の

北鐵遭難列車に乘合せた

平岡謙 一氏の手記

が るるのに、戦意を敷めて軍外 に出ようとせぬ態度が横に障 でたので、わが兵に注意して での相違とはいへ、後に新聞 性の相違とはいへ、後に新聞 性の相違とはいへ、後に新聞 を敷つた付上桑三郎氏の 自身犠牲となつて参数の人質

の位置を異に 幸運にも座席 護員の來着するまで及ばずな三時半頃哈爾賓から應接除救 走したが、これはがら必至に働いて善後策に 二時半頃火曜から、

奔

ら消失せ

三等寢台車

て脳狸の

ゐて、匪賊と交職中、

更に

北鐡從事員で

客だつたのか、實によく働ら 腺の人々並ひに薬客諸君から いてくれたものだ」と鳴らひ た者の當然遊すべき

力は充分に酬ひられたのだ、刺を所認されただけで私の機 今の日蘇間の國際的關係、殊唯こゝに憤激にたへぬのは昨 渉の頓挫、頻々たる列車襲撃 とは申し出でなかつたことを一片のパンをさへ提供しよう

際わが守備兵が食糧に窮し、 切例證として、今夏の水害の が例證として、今夏の水害の 車を出すことに手間取つたりしてゐたために機宜の處置を失した點が少なくなかつたと領事館員は憤慨してゐた りにな する態度など らぬほ 本を出すことに手間取つたりを知れぬが、今回のごとき、大事變に際して執つた般慢な無電によつて一時には哈爾賓に通報されてゐたのに、救援に通報されてゐたのに、救援に通報されてゐたのに、救援 大事變に際して執つなかる知れぬが、今回の 中に哈爾賓から乗つこ

今回の態度と併せて 踏んで騒ぎ廻り、やがて救援 除が強着して、開扉さるるや 東客を突きの か姿を けつつ何れへ まょ、 特經て兵士諸君乘客一同が蚤 起に類見できなかつたが、こ れが牒報連絡の任に當つた者 でないと誰が保護正束るか、 で開扉を迫り地圏歇のにボーイのみは盛んにボーイ

で、最初に祀した遺転を直覺四尺も掘り取つてあつたため した際、音響と動 更に次ぎの どって乗り上げ

四己・一の順復は線路下のベラモの順度は線路下のベラモ、機関車の順序になつて居り、機関車の順子を発 事實であつたとしたら、蘇聯 事質であつたとしたら、蘇聯 れると思ふのでき 車が少し瞬 態質づけ 下客車の下敷となつたため、 は質二ッに裂けて、車内は落 さなかつた、だから順援除が 死者を出したもので、隨つて殆んど全滅となつて多数の即

が多数居られ、また私が始末には満洲馴れぬ内地の教育者には満洲馴れぬ内地の教育者 つて取り出した屍體は酸鼻をさつた客車を取除き、骨を折 の青年で、無情な一陣の秋風 た電要書類と七八十圓の金 を應接隊の日本の大尉の をした屍体の中で携さへてゐが多数居られ、また私が始末 哈爾賓戒煙所員の葛蒲

市内室町尋常高等小學校では 来る十二日午前八時から秋季 体育會を開催する旨案内があ つた、當日若し雨が降れば翌 日に延ばす、目下全校の見演 は授業の余暇にその練習に一 生懸命となつてゐる 商業校運動會 十二日に運動會

大に行はれた
日午前八時から同校々庭で盛

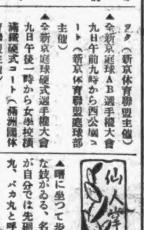
した元新京高等女學校教諭空 着中休暇中生徒に告別の辭も なく奮口圖書館長に榮轉赴任 なく 笠原營口圖書 愈々九月十二日まで二日間

浪界至上 日本 の人氣王!

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

壽 今回は演者多數に付

春 座



原芳雲氏は五日午後七時州分 水原六日同校全生徒に對して 水原六日同校全生徒に對して 大時報点で教職員生徒多数の 大時報点で教職員生徒多数の

滿鐵慰問團動靜

株軍として人類を博した八千 たせいか非常に貧面目で超さ たせいか非常に貧面目で超さ 八丁でハシャグとなんだか口八丁



ころがこの技獣類の仲間では となんだか昨

非常に的が好きなので、忠摩斯 示を撃れ、政は静かな夜をほしては開田川 と言ふのは一時ははツとのばせて

日の日本大田の名を開発を

▲百人樣迄の

大小

御宴會に

第を奪つて、悠々開日月を設つ 船の生活はまたいちだんと瞪に

いや概念らず丈夫ちゃ

概本のなかでも硬件液で困えた つもながら御肚健で脱着に存じ

死ぬ気になるも無理はない。また でなるほど尤もちゃ、それでは

この弱人が異公に心中でするのも に受くは難い。もとよりこれを思 が進んで考へて見るがいい、

空

間に

描き

出

さ

た

塲

雄巫 満洲女

そこで海太郎は、そもく一数場 精単は始終耳を傾けて聞いてる 清津 羅津 三日午四時発 日の午頭半編 日の午頭半編 川田市の前十三名

完

せ

3

日本行

「有触ら在じます、ではお話し

公は誰だ、年を取ると物質えが聴して遺ぼすが、質して遺ぼすが

なつてのう」

申ますが

「あ、出集守の子息か、なるほ 「あ、出集守の子息か、なるほ

しく述べ立たっ

私は神川吸河で、志国

8)

制引、汽船一割引、

聞

新

日

日

炭

電話五三九三番へ

各種木炭專門

商 丁目

新京東一條通消防隊横

三宅提灯店

吉野町一

0

命

11

▲印 廣 島 舎 港 門司、神戶(大阪行)

・廣告の

御用は

電三三〇〇番へ

來る九月十五日は

社秋季大祭日

化 粧 品... 房 リ紙

煖房

自動車物 機械マシンツール時間修善機ではいいます。 修請籍負

長春鐵工所

新京東三條通十番地

話 五 九

南東軍電氣指定<u>商</u>電話三三五〇番 滿電會社指定商會滿州國電氣指定商會

支

店

新

ボッチャン 散歩の

な供 実情でい 吉原娼妓ー五八 (禁上級)

生

(可認物便写造三第)

(四)

行友李風唱作

**院銀平他二天** 

れてゐる大先生だっ 質、儒學の大家として聞える古賞 局聖堂で四樓の議職を受けたその局別でのも消職、海太郎が含て湯 がたい威闘を含み、子弟に臨む とさらながら慈父の如しといは 古質先生ではござい

年九和昭

古質権里、さらいはれて願いた ことは既々あらう、はメメス い若いうちは皆有跡ちだり ったからいふが、向後は気をつけ 公のような、婦人に好かれる答は

日九月九

5 大阪商船出机

もの。その門を書つたことがないもか遊太郎はころ一年の間といふ

はつきり見聞えが

精里必ず力になっ

しかし多くの子弟のうち、し

なつた、そのように恐れ人らんで 解向いて全身から脂汁を使つてる とを仕出かすようになったのちゃ 神太郎その上の言葉もなく シアアアに 「なにそんなに恐縮せんでもい 恐れ入りました。 いやそれは冗談

**郷卒の行ひあれ** 生じ易き日注意 萬事控目なるが

是非弊店へ

香部

循環清淨機設置

**新世帶道真數 季** 

御電話次第直子三參上電話 三八四三番取次

机町三目新京キネマ前

安全・優美・迅キハックリーニン

益々練膳の功を 机上の論より質 時は豫期に反す 大畠を抱き人に 猪突に恥るな

東京気気 八三〇谷 京東合併內

一次町明神込助

中央通西公園前 物語五八〇三番

午前九時——午後大時

辯護士脈於與引地寅治郎 前 井茶園製 内外線電氣互事並三動力据付 精選青レベル 各種電燈取付互事請員 新京中央通り十二番地 市内食料雑貨店ニアリ 氣部



帝嗣見、國務會是 十二日七時半着來京十三日皇 帝嗣見、國務會是 十二日七時

本年後天候不良のため横いておの後天候不良のため横いて本月三日千二百四十十四に本月三日千二百四十十四に本一日であったが本年はからなが、本年はおり一週間早く出た脚であるが

豆の混入は大差ないが、不實 ・ は耐年より早いものと強想される、出廻数が値少のため全 ・ 健は昨年に比して損傷及ひ色

る潮前

九百キログラムが出た現場市開順院内に本年度初出廻旦約

Aなつたが、十日又は十一日 関の瞬朝を機に満洲國建國事 関を映察のため来議すること

齋藤、佐藤雨大使

四平街方面の

各地大豆出廻り

新京の日程

品質は稍々不良

後の情勢、殊に三土前鐵相のの閣職に先立ち淵田育相と自の閣職に先立ち淵田育相と自

宇佐美西尾

國辭

令

陸相と意見交換

給六級俸 給六級俸 明石 助治

任營口水廠局技士〈委任三等〉

後の情勢、殊に三土前鐵相の 神協議するところがあつたが 今日迄の情勢から見て殆ど起 所は免れ難きものと観られて 居る、尤も首相及ひ小原法相 の意見は三土前鐵相の社會的 地位其他に鑑み檢察常局が無 理を張行してゐると見られる が如き事の絕對にない稷充分 が如き事の経對にない稷充分

アー河口附近に於て満洲國汽 注目されてある折柄、又復ゼ たれるものの如く各方面より

對し六日午前入時三十

1.

頁八共刊夕紙本

設行所

吉川商會

甲板

時の固りの中で利己的だ。 で利己的だ。 で利己的だ。

い、極度に殺

殺伐な魔だらうか、 **泉はそんなに風紀の楽** 

な和中かさといふ

の』…と、果して繊洲は、「満洲たもの」『新京です

及ひ日程は不明である。

へ氏近く來滿 在横

い事だ、妻子はい事だ、妻子は

在動を命ぜられ近く赴奉する。 後未顕領事館別領事マーレル

こと」なった

十日新京着

表省通商局 田事務官は通

日 田 印 田 田 日 人 人 人

満洲國商船を射撃 國境赤衛 抗議に二日後回答を約す

トンには目下のところ立寄らぬ豫定)十月中旬ロンドン
整の豫定である、同代表には海軍書記官規本取治氏には海軍書記官規本取治氏には海軍書記官規本取治氏には海軍書記官規本取治氏には海軍者光延東洋氏、海軍屬利車にて西ド伊勢神宮市な守ちる、周山本少将する等である、周山本少将する等である、周山本少将は七日夜十時十分東京一行は七日夜十時十分東京

高等小學校の教育を

職業的

實業化

滿鐵學務課の計畫

た結果率天稲紫町六番地東邦十一時畿道部々長宝で行はれ十一時畿道部々長宝で行はれ

【大連國通】 超特急列車名に

奉天の林茂雄氏 超特急名當選者

電氣工務所林茂雄氏が常選し

月初旬、ダイヤ六十カラット 四)と判明、八日正午へ連署 四)と判明、八日正午へ連署 に検撃された、同人は本年五

0

手

入 は……(特に格安に御相談を申上ます)

勇猛な鄧團長

南部線匪賊

はじめに前後二回に亘り約五 たものである

ある、個人的には勿論何處の 教に人情味が少いのは事實で が新文に限らず滿洲の人間が一

る。そして被等はよくいふ、のを通り越し、何にかしら機のを通り越し、何にかしら機

を願つて已まない

事情観察のため八日大遠着、商事務打合せ、並に満洲國經濟 十日新京府の豫定である

人情味に甦れ

から男へ轉々と

大久保育左衛門

益す 募るい

ブラタップ氏

蒙古入り

完成する選ひとなった。 着し種々監督をなしつつあ 右兵器所所長エド 

離の設古入りを實現するが大 は九日大連出發北行、新京に は九日大連出發北行、新京に 大で禁準備を整へた上蔵よ苦

「大連関通」満鐵學科課では「京、撫順、安東等の大都市の」ので之がためには現在の高等が、有質學務課長の抱懐する」の年徒のため商業、工祭、農が、有質學務課長の抱懐する」の原則とし本業後直ちに實務 特際教育を貸さんとするものが、有質學務課長の抱懐する」の生徒のため商業、工祭、農が、有質學務課長の抱懐する」の生徒のため商業、工祭、農・原教育を貸さんとするものはなべき六十%万至八十%である。

連よりナイル氏が同行の豫定

よるソ聯空軍の實力定の如し 新を命ず 動工級体、與安總署總務處動 動工級体、與安總署總務處動 動務を命ず 動務を命ず 通过爾與サ響緊局 通过爾與サ響緊局 任興安警察局署佐(委任二等) 給八級様、塗瀬罕王府興安警 察局勤務を命ず

京

工事は今月中に完成せん

ソ聯飛行場も擴大

攻撃機及ひ其他

B

H

室日なき有様であるが、最近 「 案天國道」 医韓の如くソ聯

武器の化學製造所の建築に着 さればり聯は最近庫倫近郊に 営地の確かなる筋への情報に

乗任專賣公署技士(委任一等) 特政聯技士 佐々木四平 特政聯技士 佐々木四平 に商標局屬官(委任二等) 使命ご行程

イゴーイオー 山本海軍少將はこの秋ロン 山本海軍少將はこの秋ロン 金加する山本五十六少將の使金加する山本五十六少將の使 海軍非公式發表

一般問題等につき意見の変換
 一般問題等につき意見の変換

の豫定で視察するはずである海、南京、廣東各地を三週間

三土前鐵相の起訴は必至か

検察局の態度慎重

の情勢で

産金買上値段 財政部では九月八日より向一鴻州に亘る産金買上價格を汗の如 |角〇分 反對說得に大童

レマン湖畔の政局果然緊張

米國シアトル経由(ワシン 二日東京發比很丸に薬船、 二日東京發比很丸に薬船、

▲本年度完全粒七十九、二色 豆〇、三損傷八、四不實十 一、二夾雜〇、九水分十四

目下調查中

表アロイジ男等歐洲政局の主 然活況を呈するに至つた、ソーデン國獨尚書、イタリー代 ぐり、レマン湖畔の政局は果妻信の開會を横にフランス代 り東歐ロカルノ協定案、ソヴ事會の開會を横にフランス代 り東歐ロカルノ協定案、ソヴージュネーヴに集

■ 八年度完全粒八十五、○色豆〇、五損傷八、六不實四豆〇、五損傷八、六不實四三次難一、大水分十二、三三次難一、一水分十三、三一七次難一、一水分十三、三一七次難一、一水分十三、三一〇〇、四損傷九、四不實二三、二次雜一、三水分十四 産地は同郷西方四十支里慶雲十二銭で資業棧で買取つたが 品質多少惡

觀视

京自治委員

粹都美

の目的から新京特の都市美の改革に 一行渡日

大童である、八日の狐密會で対のエよ」と 佛外相活躍目覺し 右手緘さより聯盟國の總意を 一表示し理事會は勿論總會でも では、デルゼンチン等の反

が衝突棒事

した郵船側( 郵船が商船 阪商船が郵船を 大阪商船マニラ 一四鍵の請求訴訟 **阪商船マニラ丸** 昨年二月日本郵 價七萬九千八百 激起した事件 へらる

満洲の主要各都市を訪問全講 を來る十六日午後京城を出設 を来る十六日午後京城を出設 の經濟金融狀態等を視察する一事となつた

東京市電爭議 持久戰に入 3

男の子であらら▼秋も漸く酣

お祭も次第に近づい

制を保ち、電氣局側もこれに側の結束亂れず整然として統に四日に亘るも依然從藥員 當局近く强制調停か

次に乘出するのと観られてる 偽勇軍の 有力部下逮捕

【赞口國通】遼河水上警察局

査所では七日午後九時頃

が法廷に黒白を写ふれたと云ふのだが たので其の成行き

の保証移する時は国時不祥事の保証を示してゐるが、この中に保たれてゐるが、この中に保たれてゐるが、この中に保たれてゐるが、この中に保たれてゐるが、こ が發生しないとも限らない | 震響をはいる時はは時不祥事 はいふに意見一致、適常なる時間を見計らつて張制調停を爲 が、一方針を決し、既にその準 が、一方針を決し、既にその準 が、一方針を決し、既にその準 が、一方針を決し、既にその準 が、一方針を決し、既にその準 が、一方針を決し、既にその準 が、一方針を決し、既にその準 はいふに意見一致、適常なる時間を はいふに意見一致、適常なる時間である。 である、一して出り多分その はい希望を有して居り多分その はいる。

らう▼けふの日曜を西公園に

月月日日 級 天 級北帝の 風器 出 最最高 二十二度 七十一度 七十一度 七十一度 七十一度 七十一度 七十一分 分

各國に署名させ舞 質成國表作成

長外八名が彪々來る廿三日新像、協議の結果、王自治委員 京出酸、約一ヶ月の豫定で渡

迎宴を催す事となつた 電器新護会謀長を招待し、送 電器新護会謀長を招待し、送 **参謀長招待** 新舊海軍部

せられた最初のものだが、

命にある人々を

北鐵南部線の距渦

京城銀行團一行 近く來京

も吉林省公署より表彰される 明確な行動により第四軍管區 になつた、尙双城縣警察隊長 になつた、尙双城縣警察隊長

泥の差であり、これこそ大和関民性の相違とはいへ全く雲 た平岡謙一氏の手記が本紙にある▼同じ遺離列車に乗合せ たことは吾々の大きな誇り 侠的精神の發露であり 鑑り出て匪賊を相手に 人のわが日系官吏中から出 た補州國兵がたいほんや

**番自動車<br />
幣島職油類販賣** 

熊はヤマト商會競支店 室町 (三井物産筋向)

電話風 四五 九四 二五 四二番

之街老松町



店るな小狭の一京新

は用御。服洋

本店。奉天・会紙1塩・若松町四一本店。奉天、支店大連、ハルビン、奉天城内中央通三六・豊野三三四六書

餘職木村洋行支店 電話三三四六書

オリエンタルフィルム

日夜北殿南部線に於る匪賊の日夜北殿南部線に於る匪賊の

辰清炭疽病小康

ルビン國通」去る八月

匪賊の生首廿二個を證據とし出動、匪賊を急追し西城子附出動、匪賊を急追し西城子附

ックを使用してゐる

た、即ち鄧ሣ長は事件の勃毅的打撃を與へたことが判明し

【大連調通】○○線長滑附近に於る紫道病は最近小康を引 六百頭、同方面の馬匹は殆ど 全蔵し馬車夫の感染死亡せる の四名を出した、これがた

寫眞機材料專門

本御仕立の御注文も致します」 院 內

元 朝 日 板看丸 0 部灯提

すまし潜伏してゐたものであ る○○○○會配の職工になり ないまゝにし本年春より登日な カなる部下として盤山、海城カなる部下として盤山、海城市 大月以来學良の撃下占勝の有力なる撃下腫元 くも強て手配中の反構抗日 **賈石密輸犯** 大連で檢擧さる

作品。意三三〇〇谷

四話電 七

(=,

事の從事工人及ひ關係者の乘ち、では今後國都建設の諸工ま、では今後國都建設の諸工ま、では今後國都建設の諸工ま、では今後國都建設の諸工 

事變記念

「大連関通」来る十八日は早 一 大廣場、東公園、沙河口、埠 要辞平和を確保するが、満州建園 東洋平和を確保するが、満州建園 要業を者に動し慰農謝恩の忍 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 大廣場、東公園、沙河口、埠 在鄉軍人州內大會 宣言決議を各要路 を打つて一丸とした帝國在郷 軍人會旅順支部では灰る九月 十六日(日曜日)午後二時よ り大連市忠殿塔前廣場に於て 関東州內在郷軍人大會を開催 変刈軍司令官その他の訓示あ つて後宣言決議を爲し内閣總 理大臣以下各要路方面に送附 第一線を承る國軍の中堅とし て應々結束を固めることゝな

花咲爺の姿美し

金屛風を献

満鐵各初等校職員兒童が

のお祝ひ品

ける四月即設以来の乗降客敷からのダイヤ改正を期して可からのダイヤ改正を期して可いのがある、なほ同様におけてのがある。なは同様におけてのがある。

新京鐵道事務所を通

四月乘客三百六十名、降客 一大百三十一名、 收入百六十 八圓十二錢、 五月乘客一千

海軍々樂隊の演奏會が健され 五十銭の豫定、なほ艦隊側か 五十銭の豫定、なほ艦隊側か のは特にわが新京市民のため 應援、特別市からは特に高脚とれに纏放女給など百餘名が、それに纏放女給など百餘名が、 でんごなどの接待、 は、すし、支しるこ、おでしるこ、おで

に嘆願 大同林築公司では毎年多期に ・ 大同林築公司では毎年多期に

新京に 乃木講社創立

庄左衛門、田村新助氏等の愛 三郎、小野寺兵右衛門、久松 三郎、小野寺兵右衛門、久松 主確にて毎年九月十三日の命 在郷軍人會及数化聯盟の共同 営地にては從來乃木會と稱し

の後定、日時未定) 指紋をさ **木講元總取締并** 

益富政助氏

從業員向講演

伐木人夫の

日的とする納然たる作 道現栗員商器習賞を、來る二 所主催の下に益富政助氏の鐵 新京地方事務所並に鐵道事務

泥棒して逃げる 虚を捕はる 虚を捕はる

た時價十圓のレーンコートを 漢方に侵入し壁にかけてあつ 窃取し逃走中を説町四丁目

志の方は随意参拜を希望する と信は講真を希望の方は前記 五氏の内へ口頭御申込みあれば宜し、乃木講の目的は乃木 大將御夫婦の心を以て心とし を兼ね祭典講演等執行の答有で来る十三日午後七時から新で来る十三日午後七時から新 幾太郎大將 せたので は新京附近に 置き忘れた

洲國衛生施設

全

満衛生機關を整備

本年度に於て國立醫院創設

衛生指導官を配置

の三項目を 過程を進めて 一、傳染病 傳染 生機関の充實

創設、各縣 するものと見図家財政上の 生技術廠の黔 の設置、検疫 而して右目 生指導官の設 五個年の時日を要認を完備するには認を完備するには 役所の光質及ひ衛 に配屬する公腦師 に配屬する公腦師 

年十一月七日の五萬突破から 位か二年にしてその倍数に達 した事は躍進途上にある滿州 建図の感薬並に國都新京の設 建図の感薬並に國都新京の設 では近く十萬燈突破の 記賞を擧行すべく八日午後同 支店では近く十萬燈突破の 下會合協議を重ねた

定は既に報道した通りだが、民政部衛生司に於て各縣に配 滿洲國公醫 全満各縣に配置 余名

日

昨日正式决定

艦隊から御禮に軍樂隊の演奏

聯合艦隊

の歓迎方法

名の七名が全員に代つて宮廷 上することになつた

事してゐるので修總監は入日 年前十一時首都警察廳に正副 祖合長並に各部長を招き組合

衛生組合員表彰

ら懇談するところがあつため市民のために努力されるやめ市民のために努力されるやります。式後將來益々市のために対してこれる。

强盗を捕へ

八氣を呼ぶ

巾民陸上競技

日

来る十九日始めて新京を訪問を、神崎副所長、佐々木副領長、神崎副所長、佐々木副領長、佐々木副領長、佐々木副領

一十六名集り打合せをなした、 一十六名集り打合せをなした、 一十一日離京當日は官民多数 に計一日離京當日は官民多数 に設迎をなすと同時に滿 で送迎をなすと同時に滿 で送迎をなすと同時に滿

大會はいよ々々今九 ツーリスト、ビューロー新京 大會はいよ々々今九 ツーリスト、ビューロー新京 大會はいよ々々今九 ツーリスト、ビューロー新京 で、頗る人氣を呼ひ てゐるが、今度新に闘主任が フヰルド各種目に 配屬されることになり吉林案 の面から参加者織出 内所の主任光安良明氏が初代 ので多数に及ぶとき 列車で衛任した 列車で衛任した けふ西公園で舉行 

軍等) 七回(補)竹田左飛、柳原二 一種手の落球に生き二盗を たたが捕手の送球に刺る、 田中二乗。高乗一、二間を 古賀中瀬、高乗一、二間を 古賀中瀬、高乗一、二間を 古賀中瀬、高乗一、二間を がく安打に出たが高橋左飛 (森軍等) 八四(補)三者凡退、△(全)二 形後藤澤四球を利し田中左 前安打蔵(小橋中前安打に 藤澤生還湾香牧前(蔣等全

優勝者に 相兜を贈る

九回滿三者凡退(閉職五時三十分) 

農事試験場の先進的模範最事 の養醒と、農民の自力更生に の養醒と、農民の自力更生に 滿洲側大敗

区、鎌嶺機關分区、四平街畔 でれ優勝盃、副賞が授興され でれ優勝盃、副賞が授興され である

**大會選手權** 

試合經過

大海タクシー大海タクシー

電話二三二九番

に向つて出設の豫定である 脚係科長の指示事項を受けて 関係科長の指示事項を受けて 関係科長の指示事項を受けて

大概 002 000 000 2-3

開始されることとなった 野野球リーグ鼠は窓々八日の帝立、明法各一回職を皮切に 東京図山』 待認の東京六大 けふ開始

【東京國通】帝大對立数の野 本歌は二▲對一で帝大勝つ △スコアト 帝大勝つ 對立教一回戰

 $\begin{array}{ccc}
0 & I \\
0 & A \\
\hline
1 - 2 & A
\end{array}$ 碎栗粗

**3** 商

二六二九番

募 集

募集人員 合 一 美郷 二 就井相互組織二依ルタクシー管業創業二就井 + 運轉手ヲ募集ス

創業事務所

帶 地 ٤ 乜 ル 地 皆様のお店として No. of the last of

本日類 初 母 3 ŧ け 0 許案 輕 快 無 比 0 子 守 N. 2

日 合は總領事から歌迎の挨拶あ 見童代表三名、同理 は 動 関 場で大々的に行ふ、 同遊 である、近く職員 と、地方事務所長)主催の歌 誠に高尙なもので いば上品としては である、近く職員 である、近く職員 である、近く職員 である、近く職員 である、近く職員 である、近く職員 である、近く職員 である、近く職員 である。 に着いた目下室町 献上品を率呈すべく、一人當 り五銭以下の金額を募集した ところ、たで一名も洩れなく 全員大真ひでこれに應じたが それを纏めて金屛風一双をさ きに三越に注文中のところこ に着いた目下室町校に保存し に花咲爺を描いた見るからに に花咲爺を描いた見るからに に花咲爺を描いた見るからに に花咲爺を描いた見るからに

修總監から表彰 南陽朱家屯農業王清山、同黄 南陽朱家屯農業王清山、同黄 市陽朱家屯農業王清山、同黄 大組の强盗が押しいつた際こ れに抵抗してそのうちの二名 を組伏せ南陽の警察署に突き からこ名の逮捕をも容易 からしめたといふので修練監 等感でこの勇敢なる行為を表 等し感謝状にそへて金一封を

亘つて各方面

なつてゐる。

員聯合艦隊見學 協和會地方分會 本年から神輿渡御

順路や御休憩所も决定

秋のお祭ちか

爾

**(B** 

月)

范家屯に居るか 1曜は西公園 公大氣であればけふのこには絶好のシーズン

職合艦隊大連入港を期に協和 會でば地方が曾の協和會中心 分子たる評議員並に常務委員 約八十名の艦隊見學便範團を 和職に、廿四日新京を出設す るが更にこの機を利用して約 四日間に亘り旅大の文化的施

ある、(括孤内は御休憩所)

神奧渡御順路

ピュー 副主 任着任

まで摘がつたので、従來領事年は新京附屬地もダイヤ街に も大館に近づいて來るが、本秋も漸く深く新京神社のお祭

時三十分頃には時還の豫定で 時三十分頃には時還の豫定で 時三十分頃には時週の豫定であったのを今 に 所もまちまちであったのを今 年からは御旅所のほかに週當 が 指定した、今のところ午前十 時新京神社を御出發、午後四

新京における

人口の増加と視

7

百

A

無検閲の エロ フヰ 4

9

が開始される三輪打高橋、藤澤(全)

9718 本橋原松原村見田原本橋原松原村見田原

初

秋

0

柄

鐡道事務所の

第に招き滿濃濁立禁衛軍を組 の援助の下に滿洲各省に散在 でを大頭目十數名を先日東新 なる大頭目十數名を先日東新

名が藤順すると共に正築に就 でく結束式が暴行せられた、 でく結束式が暴行せられた、 で、く結束式が暴行せられた、 で、では兩三日の内各現 地に降任しそれぞれ工作の準 地に降任しそれぞれ工作の準

滿蒙獨立禁衛軍組織

日午前十一時頃から一斉に不 押取したがフキルムの徳べて は から十五代、 西六馬路照整公 は上海もの日本もので可なり 検撃に手を延ばした結果六馬 エロテックなものが多く而か 保 路門胡園園壽に(四三)方から も前記各商人は一フキート大 保 で から十五代、 西六馬路照整公 得てゐたものである は 上海もの日本もので可なり 新 日午前十一時頃から一斉に不 押取したがフキルムの徳べて

警察廳三百卷を押收

にあるらしい たいかと問ひ合 がないかと問ひ合

起で乃木쀍社を創立し貴志彌

風してト

十日午後四時中から新京高女 は織道省現業員を中心として は織道省現業員を中心として は織道省現業員を中心として は織道省現業員を中心として は織道代業員の地位向上とよる に、その精神陶冶にも全力を に、その精神陶冶にも全力を をけ聞目の熱辯を以て日夜東

新京体育聯盟主催、全新京庭 (本は AR 和選手權大會は今九日 一年前九時から西公園コートで 期して全新京の副権を載ふこ として全新京の副権を載ふこ ととなったが、一方滿洲國体 育聯盟主催の全新京庭球(硬 である。 で事行されるはずである。 1、で事行されるはずである。

息

在

祉

兩野球團大阪へ

全滿硬式庭球 選手權大會

京地選は八、九、十の三日間に百り西腹場溝織は八、九、十四組である、なは率天、ハイビンの豫選は六日終了、本大會決勝は各地よりの優勝組とので振ばなりの優勝組よりの優勝組よりの優勝組とので、大橋川県の一日間である。なは率天、ハスニートに於は各地よりの優勝組をである。なは率天、ハスには一般には一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋に対して、大橋に対して、大橋に対して、大橋に対して、大橋に対して、大橋川の一般に対して、大橋に対して、大橋川の一般に対しないが、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対して、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋川の一般に対しが、大橋に対は、大橋に対は、大橋に対しが、大橋に対しが、大橋に対は、大橋に対は、大橋に対は、大橋に対は、大橋に対しが、大橋に対しが、大橋に対しが、大橋に対しが、大橋に対しが、大 對八幡二 回戦 

本高橋敏男氏大和通りから老 本中島位富士町から永樂町三 丁目十三番地小川方へ 大向省三氏 吉野町から四 平街へ 三笠町から入船 町三町目一番地へ

轉移張擴

付御報大第30上いたします

東二條通橋南渡る左

・あ

❖❖❖ マッカ め

一陽堂

關治療院

神知

▲ 岩崎養雄氏 入船町四丁目 九番地)次男康線さん三十 一日出生 一日出生 十五番地)長女セッ子さん二 十五日出生

東三條通七四 東三條通七四

火災。傷 害·自動車保險

新京東五條通

權太

高級金庫 鋼製家具類

場 面 會 時間 面會時間 午前十時ヨリ午後五時マデ希望を位置書携帶至急来談アリ度シ 應募者資格 ダイヤ街老松町丁字屋東入 、相當ノ賢力ラ有スル人格者タル事一、關東羅免許證所有者 ド第一回戦 で慶應等原に於る最終戦 を施第三回数は七日午後二時 を施第三回数は七日午後二時 の101世 001時九分 01世 01世 01世 01世 01世 01世 01世 01世 01世 小唇 女事務員募集

会 出 個し日本人にして技術優秀の方に限る幹細面談相常有 がラス 部の 擔當者を求む

賽馬會事務員女子 明輸或圓貳拾錢 電の方は午前中来談ありたし 新京富士町五丁目六 新京富士町五丁目六

リウボョ 大ッ 令し

立て、訪れる人といへばていない。 附近に小部落がたれ水源地としては最も遠呼

### 道水京新

0

專單年

入ガネと双眼鏡の專門店

0 門海筆と

竣工近き第五水源地

市民から第一に稼謝さるべき

大、〇〇ラデオ酸操
六、〇〇ラデオ酸操
六、一〇ラデオ酸操
六、一〇ラデオ酸操
六、一〇ラデオ酸操
六、一〇ラデオ酸操
六、二〇ラデオ酸操
六、二〇ラデオ酸操
六、二〇ラデオ酸操
(東京より)
・ 東京より)
・ 東京大學野球聯盟リーが戦力
・ 地域大学に対する。

マス(鮮語)

ます

連、

奉

天の

本

支店

同

樣格別

加

u)

ます

P

i

偏

15

御

願

申

ż

す

設

す

3

事に

ts

ł

した、開店早々

7

萬

事不

目

原金

眼

鏡店(甘

栗太郎隣)を

讓

V)

受け

御

爱

顧を蒙つて居り

£

す清

眼

堂が、此の

〇、三〇 演藝 (滿語)
一、三〇 演藝 (滿語)
一、三〇 講演藝 (滿語)
一、三〇 講演藝 (滿語)
一、三〇 講演藝 (滿語)
一、五〇 日用品傾段
一、五〇 日本 東京より
三、五〇 ニュース(補語)
三、五〇 ニュース(補語) 專筆年萬山西

**小米若師** 日から長春座で開演 百四十七輯等……

九月十日より十四日まで御買上げ

(金製品は御客赦下さい)

計鏡

三割引

二割引

開

店

記

念

新京支店

電話三二九二番新京吉野町二

奉天支店

電話三三〇六番奉天春日町一

大連本店

電話八四五七番大連連鎖街京極

用

命

仰

付

ij

下

3

貴

金

屬

類

眅

賣

致

7

居

ż

す

ら、眼

が長崎鹿兒島 

一一一二〇 五七 八 圓

質高、信州嵐…… 天野屋利兵衛、國定忠次、

连兒島 一番 八十一番 八十一番 八十一番

月十三日本

字字書意文楽根茶蔘夢把 名 果小賣 一一 一一 〇〇四五六五三七五六八四高 場 〇〇三四五五五〇三六三四三〇三二三五五七二三四三〇五四四六三低

目丁二可笠下。 态九七八五電

郎飯塚敏子、北原露子主演の水久保澄子、竹内良一の「畝水久保澄子、竹内良一の「畝水久保澄子、竹内良一の「畝水久保澄子、光川京子、北川京子、東野秀夫、光川京子、

大連近江町流

門滿鐵本社內滿鏡社即所以上,

80 (型新最) 

地服行流の冬秋今

來 品品

オーバ四五、〇〇 一二三〇、〇〇 十二ング 七〇、〇〇位—一四〇、〇〇 一二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 十二三〇、〇〇 四五、〇〇 マイシャー社 -1四0,00 -111110,00 ラー社

勝叉洋服店出張所 三四二五

連大

ターピンポンプ ダイヤフラムポンプ自動給水ポンプ ヒューガルポンプ 機械商原田組張所 ハツ輕油發動機 新京東二條通七八 輕油發動機 各 在

全赤 煉 瓦製 造 販 在 交那形黑煉瓦製 造 販 五 

・ 但城内及南樹方面ノ御往安へ特ニ格安ニ御相談致します

話三四八三番

家具需要激増の折當木廠に家具部を電話三一一一番 切叮嚀に廉價を主義として皆樣の御 用命に應じます 設置して優秀なる技術者を以つて親

卓呂 告!!

ポンプと

大同大街三中井百貨店敷地前

大山木廠家具部

洋 美 洗 ーアユキニマ 附着绚 和 を 第 五 三 ハ 二 新京大和通四九番 粧 院



清眼堂新京支店



掘

INDURAL PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE PART

御下命下されば直に参上を記五二四六番へ

金土存

岡青

教師 擔任

正午より三時まで) 正午より午後四時まで

**松**一草、柳溪水

THE PARTY OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

文ニ應ジマス種其他一式、破事務机、椅子、

破格ノ御値段ニテ御注

木炭ノ卸及小賣

x 長

化

=

線譜

和洋

家具

ばかり耳打しておいた。」 はかり耳打しておいた。 不願工だと思つ

験山にしても高悦に面を埋かし

所引代家や三浦七兵衛が云

左供で側座りましたか、以前

おあひになりました時にも、それらしい現はお見まりにならなかつ 味儿に腰をおろしてゐる神山のそ みんながみんな足の選者な下すな れらしい男は見受ませんでした無 しておいて、下役人語所の士間の 腹田間之助は謝明を其處に存た 「ふむ。それが事實なら、 して繋叩から難いた大賞を の 
奨権 
鉛 
な 
フ 
つ 
學 
家 
大 
名 
児 
小

市

生人

クニン錠

難く人生を

疊

目品業營

上表新裏表 吳 敷座疊替替

お買ください

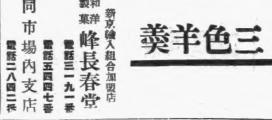
安高くくもも

本店

電話長三〇〇七番 電話四九五六番 地 茶京梅ケ枝町二丁目二

入舟町四丁目十七ノ三 発話呼出五九一人番

奪はれるな



居にものを、急に想ひ出したか

席を扱れ、裏切の側へ

日那様は皆のお方様に、私収

総田は高助の姿を見ると、忘れ

農川戻つて来たか。個





9

田

塗水 滿 ●價格低廉==剝落: 料性 洲 夏向服裝

共他夏向スポーツ服益 山 パ ン ツ 並服裝類

動具店

\*\*\*相

京店

那友煉

瓦販賣

土建金物商會競支店

鐵工製品一式

荷倉海 造 厚 除 運 服 登 送 送 ータイシャツ

裝多數入荷

西山運

直感造炭

類新 荷着

報次第多上)

網のお手工 ▼受渡貫目は正しい▼ 打 直 は 迅速 八時

3

卸小賣

製

品

新綿も各種豊富に取揃へてあり

何卒御利用を…! 何率御利用を…! 製綿所



△鐵 鋼、鍋 眞 鍮 △平浪板、洋釘、針金

二十火災。是公士電五六六九番形律名



ー半ーケー 授 日月月 券券 料

(年日教授)

二,000周

F.

ス

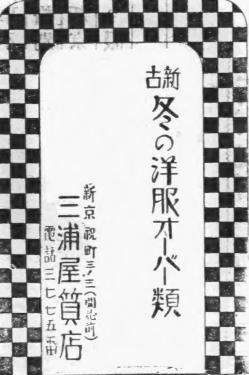
木

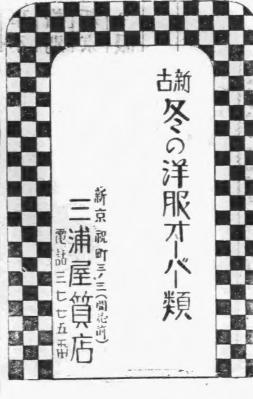
電話五三四六番

店

数京東二條辿り 新京東二條辿り

新京支店





新京梅ケ枝町三丁目(東二條通) 前

昌

兒人

春の八八四世時

清

長

隨往應產

意診需婆